

月日	曜	区分	講習の名称	内容	提供分野・コース	定員	担当講師
8月17日	月	必修	教育の最新事情	①学校をめぐる近年の状況変化について、国の教育政策や世界の教育動向をふまえて検討する。②現在の教職員の現状と問題点について、現場の立場から状況の変化、子ども観、社会的要請について分析する。③障害等のある場合を含めて、子どものニーズの理解を深め、その子どもにあった教育を模索するヒントや、心理学などにおける最新の学問的知見を紹介する。④子どもの生活の変化を踏まえた生徒指導その他への応用を示唆する。	教育学	50名	杉田 真衣 河合 隆平
8月18日	火	選択必修	学校、家庭、地域の連携	①学校、家庭、地域の連携及び協働のあり方について、国の教育政策動向を検討する。②学校、家庭、地域の連携及び協働のあり方について諸外国の事例も紹介しながら、その可能性と課題について検討する。③学校、家庭、地域の連携及び協働のあり方について、千葉県習志野市秋津小学校の取り組みから学ぶ。④学校、家庭、地域の連携及び協働について、全国各地の取り組み事例をもとにしながら、その可能性と課題について検討する。	教育学	50名	荒井 文昭 岸 裕司
8月19日	水	選択1	学校と地域における安全・防災教育の展開	災害等が多発する中で、学校と地域における安全・防災の取り組みが一層重要となっている。とりわけ首都直下型、南海トラフ、北海道東部など全国で大規模な災害が想定されており、学校や地域において質の高い防災教育・防災学習を展開する必要がある。東日本大震災後の調査・研究の成果に学ぶとともに、震災当時に校長・教諭として児童・生徒の避難誘導にあたり、震災後も全国で防災教育関連の現職研修等にかかわるゲストをお招きして話を聴く。	教育学	50名	野元 弘幸 柏崎 正明(ゲスト) 佐藤 敏郎(ゲスト)
		選択2	歴史学研究の現状と課題	おもに日本近代史、東洋古代史の分野での歴史学研究の現状と課題を講述します。日本近代史では、江戸時代に「村の民」であった人々が、明治時代となり、どのようにして「国民」として自覚させられ、「日本人」となっていくのか究明します。東洋古代史の分野では、主に朝鮮半島地域と中国・日本など東アジア地域との対外交流に関して、近年の研究状況の一端を紹介し、今後の課題を見通します。	歴史学・考古学	25名	國 雄行 赤羽目 匡由
		選択3	数学的な考え方とその応用	1.初等整数論とその応用について講義する。特に、素数と現代暗号との関係について述べ、現代社会の基盤となる数学の一分野の紹介をしたい。 2.「一次分数変換を通してみる複素数平面の幾何学」一次分数変換とは、複素数 z を別の複素数 $(az+b)/(cz+d)$ に送る変換である。この一見単純な変換がもつ様々な性質を通して、複素数平面上の幾何学を考察する。	数理科学	25名	内山 成憲 深谷 友宏
8月20日	木	選択4	授業でのICTとマルチメディアの活用	本講座では、初めに教育工学や教育心理学の視座からその知見について若干ふれる。次に、国内外でのICT活用状況や施策について概観するとともに、国内でのICTを用いた授業事例を紹介する。後半は、動画編集に係る基礎的知識やその方法について習得する講習を行う。以上を講義と実習により行う。	大学教育センター	25名	永井 正洋 畠山 久 松波 紀幸
		選択5	哲学概論	価値観の多様化に伴い混沌の様相を深める現代にあって、それら諸価値をどのように理解し、どのような姿勢をとるべきか。近現代の西洋哲学の知見を取り入れながら、あるべき現代人の知的・倫理的態度を考察する。とりわけ、私たちが直面するさまざまな哲学的問題にどのような態度で取り組むことが最も生産的であるのかを具体例を通じて検討する。	哲学	25名	岡本 賢吾 木田 直人
		選択6	ゲノム編集技術を用いた医学研究の最前線	最近よく耳にするようになった、ゲノム編集技術とはどのような技術なのか解説し、ヒト細胞でのゲノム編集研究で明らかにした新規のゲノム維持メカニズムについてお話しします。遺伝学アプローチによるゲノム維持メカニズムの研究が、皆さんの生活にどのように関わるのか、社会との接点や将来展望についてもお話しいたします。	化学	25名	廣田 耕志
		選択7	高校生物課題研究～生態、系統、行動	指導要領の変更により高校生物の「探究」が大きく取り上げられます。生態、系統、行動の研究課題では、材料の選定に困難を感じることもあると思います。本講座ではこの分野の研究に使い、簡単に屋外で集められる材料を研究者が紹介し、一緒に高校での課題研究を考えていきたいと思います。 午前中は微生物の講義および課題研究の紹介、午後は土中生物の分類実験の予定	生命科学	15名	福田 公子 江口 克之 春田 伸
8月21日	金	選択8	高校生物課題研究～生化学、生理、発生	指導要領の変更により高校生物の「探究」が大きく取り上げられます。酵素をつかって、教科書の理解を深めつつ課題研究ができないか。発生や、生理学、生化学など座学になりがちな分野で課題研究ができないか。そのような分野でどのような課題研究ができるか、研究者と一緒に考えてみませんか。 午前中は生化学の講義および課題研究の紹介、午後は発生実験の予定	生命科学	15名	福田 公子 朝野 維起
		選択9	多文化・多民族共生と教育	日本社会の多文化・多民族化に伴う教育の課題を明らかにすることを目的に、最近の研究を紹介・分析するとともに、外国につながる子どもにどのような教育が必要なのかを具体的な事例を交えながら考える。また、当事者である講師をゲストスピーカーとして招いて、外国籍で日本の学校にいることの意義についても話を聞く予定である。	教育学	25名	金 侖貞 山根 俊彦(ゲスト) 朴 元綱(ゲスト)
		選択10	最近の地理学	高等学校における新学習指導要領では地理総合が必修修化されるなど、地理学を取り巻く最近の事情は大きく変わりつつあります。この講習では最近の地理学について、自然地理学、人文地理学、地誌学の専門家がそれぞれ最新の研究成果を取り入れた講義を行ないます。いずれも、現場での授業に役立つような内容になれば、と思っています。	地理環境学	25名	鈴木 毅彦 渡邊 真紀子 滝波 章弘 矢部 直人
		選択11	物理における最新の研究と物理の授業法	以下のテーマについて講義を行う：①「素粒子」に関する研究分野の最近の話題、②「原子と分子」に関する研究分野の最近の話題、③④物理の授業法。 ①と②では最前線の研究のテーマを紹介し、生徒に物理学の魅力を伝えるのに役立つ話題の提供を目指す。③と④では実験を通して、生徒が自ら考える物理教育を目指す。	物理学	25名	角野 秀一 田沼 肇 土屋 博
8月24日	月	予備日	天候等により休講した場合、補講を実施する。		—	—	

1日のスケジュール

受付時間	8:10～ 8:50
1時限	8:50～10:20
2時限	10:30～12:00
昼休み	12:00～13:00
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10